



わかさ

消防だより

編集・発行
若狭(組)消防本部
小浜市大手町7-8
TEL 53-0119(代)
<http://www.wakasa-fd.jp>

第88号

無火災を誓い平成最後の消防出初式を挙行!



消防団員を観閲する松崎管理者



若狭消防音楽隊



市中行進



市中パレード(車両部隊)



小浜消防団 一斉放水



上中消防団 一斉放水



おい消防団 一斉放水



高浜消防団 一斉放水

防火フェスティバル・防火サンタを開催

平成30年12月6日（木）、『防火フェスティバル』行事が行われました。この行事は、子供たちに、消防の仕事や役割、火災について正しく理解をしてもらい、幼少期からの防火思想の普及および向上を図ることを目的に毎年若狭消防組合管内で開催しているものです。今回は、おおい町の名田庄こども園において園児85名が参加し開催されました。火の怖さを題材とした防火紙芝居や消防服のファッションショー、消防音楽隊コンサートといった内容で大いに盛り上がり、最後には「火遊びは絶対にしません」と大きな声で約束してくれました。

また、12月18日（火）には、若狭地区防火推進協会主催の『防火サンタ』行事が行われました。この行事においても幼少期からの火災予防思想の普及および向上を図ることを目的とし、若狭消防組合管内の幼稚園や保育園を対象に昭和60年から開催しています。34回目を迎えた今回は小浜市城内2丁目の雲浜公民館にて聖ルカ幼稚園の園児95名を招き開催されました。火遊びを題材とした防火寸劇や、消防音楽隊によるコンサートを開催し終始盛り上がりを見せていました。中でも、音楽隊がクリスマスの曲を演奏し始めると、サンタクロースに扮した井田浩志防火推進協会会長が登場し園児のボルテージは最高潮に達し、サンタさんからプレゼントを受け取り「火の用心」を誓いました。



防火フェスティバル（名田庄こども園）



サンタ（井田会長）がプレゼントを配る様子



防火寸劇



防火フェスティバル



消防音楽隊コンサート



防火サンタ（聖ルカ幼稚園）※雲浜公民館にて

第65回 文化財防火デー

消防庁と文化庁においては、昭和24年1月26日に法隆寺金堂壁画が焼失したことから、1月26日を「文化財防火デー」と定め、毎年この日を中心として文化財を火災、震災その他の災害から守るため「文化財防火運動」を全国的に展開し、国民の文化財愛護に関する意識の高揚を図っています。

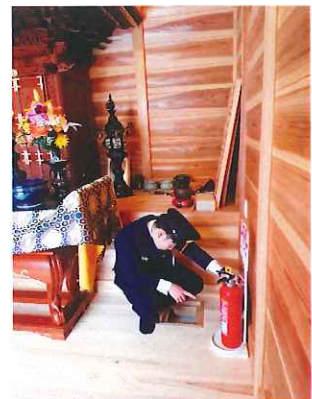
この主旨をもとに、若狭消防組合管内においてもそれぞれの市町において訓練や立入査察が行われました。



文化財防ぎょ訓練（住民による文化財搬出の様子）



文化財防ぎょ訓練（火点に向け放水の様子）



文化財立入査察で消防用設備の確認をする職員

平成30年 火災・救急・救助統計 (若狭消防組合)

	本署	上中分署	名田庄分署	高浜分署	大飯分署	合計
火災	9 (+3)	4 (+1)	1 (0)	6 (+4)	3 (+2)	23 (+10)
救急	1,306(+34)	277(+18)	171 (+1)	524 (+84)	237 (-7)	2,515(+130)
救助	17 (-1)	4 (-1)	3 (+2)	8 (0)	2 (+1)	34 (+1)

★火災件数は、23件 (前年比10件の増加)



火災種別では、建物火災が9件(前年比3件増)、車両火災が2件(前年比2件減)、その他火災が12件(前年比9件増)でした。

出火原因をみると、建物火災では電気機器等の配線、電気装置、たばこ等があげられます。その他火災では、3月から4月にかけて屋外で枯草やごみの焼却により拡大した火災が6件発生しています。

★救急出場件数は、2,515件 (前年比130件の増加)

医療機関に収容した患者数は2,426人で、65歳以上の高齢者が占める割合は1,577人で65.0%でした。

出場種別では、急病が1,611件で全体の64.0%を占めています。



★救助出場件数は、34件 (前年比1件の増加)

出場件数34件のうち活動件数は19件(前年比増減なし)で、救助人員の数は22名(前年比増減なし)でした。事故種別では交通事故が26件で全体の76.4%を占めています。

消防ポンプ自動車・高規格救急車が更新配備されました



名田庄1号車

平成30年11月、若狭消防署名田庄分署の消防ポンプ自動車を更新しました。新車両には、小型水槽(容量600リットル)およびCAFS装置(圧縮空気泡消火装置)、吸水管巻取り装置などが装備され、より迅速な消火活動が可能となりました。

※CAFS装置とは、車両内で少量の水と消火薬剤を混ぜ空気を圧縮し泡をすることで従来の約10分の1の水量で消火ができ、尚且つホース内に泡が通るためホースの重さは従来の約4分の1となり迅速な消火活動が可能となる装置です。



大飯救急1号車

平成31年1月、若狭消防署大飯分署の高規格救急車を更新しました。

新車両には、最新鋭のストレッチャーや患者監視モニター、高度救命処置用資機材を装備しています。

また、大飯救急1号車は若狭消防組合の救急車の中でも唯一、緊急消防援助隊として登録している救急車です。国内において大災害が発生した際には、緊急消防援助隊福井県大隊の救急小隊として被災地に出動し、救急活動を行います。

～消防団活動に従事されている消防団、消防団員を紹介させていただきます～



上中消防団 武田副団長



福井県消防大会での受領の様子

今回は上中消防団 副団長の武田昌樹さんを紹介します。
武田さんは、平成14年に上中消防団に入団され、平成30年4月からは副団長に就任されました。

平成30年11月に行われた福井県消防大会では、日頃の消防使命達成のため、積極的に各種訓練に参加し団員の育成指導に努めるなど、団員はもとより地域住民からの信望も厚く、他の模範であり消防力の向上に対する功績が認められ福井県消防協会功労賞を受賞されました。

武田さんは、持ち前の明るさや人柄から団員からも大変慕われています。

春の火災予防運動

3月20日(水)～3月26日(火)

2018年度全国統一標語



忘れてない? サイフにスマホに火の確認

住宅防火 いのちを守る 7つのポイント

3つの習慣

- **寝たばこ**は、絶対やめる。
- **ストーブ**は、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
- **ガスコンロ**などのそばを離れるときは、必ず火を消す。

4つの対策

- 逃げ遅れを防ぐために、**住宅用火災警報器**を設置する。
- 寝具、衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、**防災品**を使用する。
- 火災を小さいうちに消すために、**住宅用消火器等**を設置する。
- お年寄りや身体の不自由な人を守るために、**隣近所の協力体制**をつくる。

山火事防止の注意点

～山火事は空気が乾燥する春先に多く発生しています～



- 枯れ草等のある火災が起こりやすい場所ではたき火をしない。
- 火気を使用する場合は、周囲の可燃物の状況に十分注意するとともに、消火用の水等を用意する。また、火気使用中はその場を離れず、使用後は完全に消火する。
- 喫煙は、指定された場所で行い、吸い殻は必ず消すとともに、投げ捨てない。
- 強風時および乾燥時には、たき火、火入れをしない。